

大田区自立支援協議会だより 第23号

令和5・6年度 始動！
各専門部会について
をご紹介します♪

令和5年9月発行

【編集・発行】大田区自立支援協議会

【事務局】大田区立障がい者総合サポートセンター

【電話】03-5728-9134 【FAX】03-5728-9136

「相談支援部会」 神作部会長

相談支援部会は、その名の通り「相談支援」に関することや、地域の課題に「相談支援」の視点から向き合っていくことを検討する部会です。令和3・4年度に「医療との連携」という課題に取り組みましたが、まだまだ課題は尽きず、更に医療に限らず「連携」そのものの課題に「相談支援」の視点から取り組む、を今期のテーマとしました。皆さんは、支援者同士で「連携」が上手くいったと思えたことはありますか？それはどんな状態ですか？障がい当事者の思いは、その連携で叶えられていますか？「連携」は大きなテーマかもしれませんが、具体的に何をもって連携としていくのか、障がいのある方の思いをどんな連携をもって叶えていくのか、相談支援と連携する相手をどのように増やしていくのか、部会メンバーの皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

「地域生活部会」 伊藤部会長

令和5・6年度の地域生活部会で検討していくべき課題は、令和3・4年度で話し合いを深め、キーワードとしてきた「10年後の大田区がだれもが暮らしやすい地域づくり」をもとに検討していきたいと思っています。その為に、特定の方ではなく、小さな子どもから高齢者まで、まずはどんなことでも知ってもらい、自分たちの家族や友達が障がいを持ってしまった時に、周囲の人達ができる事と出来ない事を知ること、10年後の大田区が、だれもがもっと暮らしやすい場所になることを目指して、部会活動を行っていきたいと思います。奇しくも大田区が「SDGs 未来都市」「自治体 SDGs モデル事業」に選定されたと聞きますので、私たちの部会もその一端を担えればと思っています。

「防災・あんしん部会」 志村部会長

防災・あんしん部会はその名の通り、二本立てのテーマをもって運営しています。「防災」に関しては、災害時要配慮者に関わる取り組みについて検討・整理しています。令和5年度は、先に取り組んだ「まちあるき」を再開し、障がい当事者の視点を反映した取り組みの方法と実践結果をまとめ、共有できるようにしていきます。現在進行中の個別避難計画の作成および有効的な活用方法などにも注目しており、既に大田区社会福祉協議会の災害ボランティアセンターより学ぶ機会を得ましたので、他への関わりも更に広げていきたいです。「あんしん」に関しては、令和6年度前半に「あんしんカフェ」を発展的に実施できるよう取り組んでいき、障がいのある人だけが「支援される」のではなく、誰でもあんしんに暮らせる地域を意識できるような、公開の場面作りを準備していきます。

★全体交流会★ ※ 傍聴はありませんのでご注意ください。

開催日時：令和5年10月2日(月)午前10時から正午まで

開催場所：大田区立障がい者総合サポートセンター5階 多目的室

今後の予定
びよん♪

